



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日

上場会社名 **santec**株式会社（登記社名：サンテック株式会社） 上場取引所 東  
 コード番号 6777 URL <https://www.santec.com/jp>  
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）鄭 台鎬  
 問合せ先責任者 （役職名）執行役員業務部長 （氏名）山下 英哲 TEL 0568-79-3535  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月31日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨）

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,790	24.1	842	23.6	914	10.6	727	24.1
2019年3月期第3四半期	3,859	10.9	681	23.1	826	19.3	586	5.3

（注）包括利益 2020年3月期第3四半期 770百万円（50.1%） 2019年3月期第3四半期 513百万円（△7.9%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	61.86	—
2019年3月期第3四半期	49.85	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	11,183	9,267	82.9	788.02
2019年3月期	10,564	8,909	84.3	757.53

（参考）自己資本 2020年3月期第3四半期 9,267百万円 2019年3月期 8,909百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2020年3月期	—	10.00	—		
2020年3月期（予想）				10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,350	17.1	950	21.6	1,050	7.6	850	26.1	73.98

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	11,961,100株	2019年3月期	11,961,100株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	200,537株	2019年3月期	200,465株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	11,760,608株	2019年3月期3Q	11,760,657株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は2020年2月3日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位: 百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比増減	
売上高	3,859	4,790	930	24.1%
営業利益	681	842	160	23.6%
経常利益	826	914	87	10.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	586	727	141	24.1%

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで。以下、「当第3四半期」)における世界経済は、米中貿易摩擦の深刻化、英国EU離脱問題、中東の不安定化等、依然として懸念材料が多く、見通しが不透明な状況が継続いたしました。しかしながら、次世代通信規格5Gの全世界本格導入に向けた通信関連機器の需要拡大、米大統領選を控えた米国の対中政策緩和の見通し等、製造業にも景気持ち直しの兆しが見えてまいりました。

このような中、当社グループは、2020年3月期の基本方針として「新事業創出とグローバルコラボレーションによる成長加速」を掲げ、事業活動を展開してまいりました。

当第3四半期における売上高は、製造現場向けの波長可変光源及びパワーメータ等を組み合わせた光部品評価システムの売上が想定以上に好調であったこと、北米、日本を中心に光モニタ製品及び光アッテネータ製品が前年同期に比べて好調に推移したことから、4,790百万円(前第3四半期比24.1%増)となりました。これに伴い営業利益は、842百万円(前第3四半期比23.6%増)、経常利益は、914百万円(前第3四半期比10.6%増)となりました。また、投資有価証券売却益81百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、727百万円(前第3四半期比24.1%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。従来システム・ソリューション事業として表示していたセグメントは、その他へ変更しております。

## ① 光部品関連事業

(単位: 百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比増減	
売上高	1,524	2,068	544	35.7%
営業利益	186	369	183	98.4%

当事業には、(1)主に光伝送機器メーカーに対して光通信用部品を提供する事業、(2)LCOS技術を利用した空間光変調器(SLM)を研究開発機関等に提供する事業が含まれております。

米中貿易摩擦の影響等から北米向けにおいて調整の動きがあり、当初想定していた当第3四半期の売上高には届かなかったものの、北米と日本を中心に前第3四半期と比べて好調に推移しました。当第3四半期の売上高は2,068百万円と、前第3四半期の1,524百万円と比べて35.7%増加いたしました。セグメント利益は369百万円と、前第3四半期のセグメント利益186百万円に比べ98.4%増加いたしました。

## ② 光測定器関連事業

(単位: 百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比増減	
売上高	2,165	2,701	536	24.8%
営業利益	496	530	34	6.9%

当事業には(1)主に光通信用部品の製造現場または研究開発に使用する波長可変光源とその他測定器を提供する事業、(2)製造業向け及び医療向けにOCTシステムとOCT光源を提供する事業、(3)眼科で利用される光学式眼内寸法測定装置を医療機器メーカーと医療機関向けに提供する事業が含まれております。

当第3四半期では、主に半導体市場における在庫調整に伴い、OCTシステムの売上が減少いたしました。その一方で、前第3四半期と比べ、中国の光通信機器メーカー向けの波長可変光源、パワーメータ等を組み合わ

せた光部品評価システム及び光学式眼内寸法測定装置の売上が増加いたしました。この結果、当第3四半期の売上高は、2,701百万円と前第3四半期の2,165百万円と比べて24.8%増加いたしました。

セグメント利益は530百万円となり前第3四半期のセグメント利益496百万円に比べて6.9%の増加にとどまっております。前第3四半期に医療機器関連の開発受託案件による利益が含まれていること及び、当第3四半期において光学式眼内寸法測定装置の量産体制構築にかかる初期投資費用が発生したためです。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末(10,564百万円)に比べて619百万円増加し、11,183百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金、工具、器具及び備品などのその他有形固定資産が増加したことによるものであります。

### ② 負債

当第3四半期末の負債は、前連結会計年度末(1,655百万円)に比べて260百万円増加し、1,915百万円となりました。これは、仕入債務が増加したことによるものであります。

### ③ 純資産

当第3四半期末の純資産は、前連結会計年度末(8,909百万円)に比べて358百万円増加し、9,267百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金が増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2020年1月31日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいております。実際の業績結果は、世界的に拡大が続いている「新型コロナウイルス」の影響等によって、上記予想・見込みとは異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,620,860	2,320,846
受取手形及び売掛金	1,299,055	1,521,332
電子記録債権	64,784	102,577
有価証券	66,181	142,558
商品及び製品	300,306	416,792
仕掛品	173,986	257,309
原材料	257,381	332,464
その他	75,399	265,530
貸倒引当金	△6,282	△7,092
流動資産合計	4,851,671	5,352,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,321,887	1,285,982
機械装置及び運搬具(純額)	15,428	45,992
土地	1,592,577	1,592,577
リース資産(純額)	123	18,325
建設仮勘定	26,850	25,899
その他(純額)	239,653	366,733
有形固定資産合計	3,196,521	3,335,511
無形固定資産	14,326	17,568
投資その他の資産		
投資有価証券	2,428,074	2,292,679
長期貸付金	31,724	146,613
その他	42,105	38,902
投資その他の資産合計	2,501,904	2,478,195
固定資産合計	5,712,752	5,831,275
資産合計	10,564,423	11,183,594

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	498,033	291,584
電子記録債務	—	386,130
未払法人税等	126,181	122,333
賞与引当金	47,217	150,371
役員賞与引当金	16,296	—
その他	423,866	354,512
流動負債合計	1,111,596	1,304,933
固定負債		
退職給付に係る負債	491,282	518,604
資産除去債務	12,730	12,950
その他	39,790	79,497
固定負債合計	543,803	611,052
負債合計	1,655,399	1,915,985
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,978,566	4,978,566
資本剰余金	1,209,465	1,209,465
利益剰余金	2,968,662	3,284,563
自己株式	△97,399	△97,533
株主資本合計	9,059,295	9,375,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△109,790	△51,449
為替換算調整勘定	△40,480	△56,004
その他の包括利益累計額合計	△150,271	△107,453
純資産合計	8,909,024	9,267,608
負債純資産合計	10,564,423	11,183,594

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	3,859,552	4,790,453
売上原価	1,781,613	2,452,192
売上総利益	2,077,938	2,338,260
販売費及び一般管理費	1,396,539	1,496,029
営業利益	681,399	842,231
営業外収益		
受取利息	81,209	84,254
受取配当金	3,139	4,603
為替差益	61,010	—
複合金融商品評価益	—	10,976
その他	30,697	24,715
営業外収益合計	176,057	124,550
営業外費用		
支払利息	30	10
為替差損	—	25,914
賃貸不動産関係費用	9,796	9,808
休止固定資産関係費用	14,648	15,528
その他	6,052	1,258
営業外費用合計	30,528	52,520
経常利益	826,928	914,262
特別利益		
固定資産売却益	—	121
投資有価証券売却益	—	81,823
特別利益合計	—	81,944
特別損失		
固定資産除却損	10,992	0
投資有価証券評価損	63,419	295
特別損失合計	74,412	295
税金等調整前四半期純利益	752,515	995,911
法人税等	166,193	268,389
四半期純利益	586,321	727,522
親会社株主に帰属する四半期純利益	586,321	727,522



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	586,321	727,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76,107	58,341
為替換算調整勘定	3,001	△15,523
その他の包括利益合計	△73,106	42,817
四半期包括利益	513,215	770,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	513,215	770,339
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、これによると著しく合理性を欠く結果となる場合には「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する適用指針」第15項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,524,175	2,165,814	3,689,990	169,561	3,859,552
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,524,175	2,165,814	3,689,990	169,561	3,859,552
セグメント利益又は損失(△)	186,321	496,232	682,554	△1,155	681,399

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、システム・ソリューション事業であります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,068,415	2,701,856	4,770,272	20,180	4,790,453
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,068,415	2,701,856	4,770,272	20,180	4,790,453
セグメント利益又は損失(△)	369,719	530,425	900,144	△57,912	842,231

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、システム・ソリューション事業であります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来、「システム・ソリューション事業」としていた報告セグメントは重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて表示しております。

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき組み替えて表示しております。